



JR東労組中央本部

第36回定期大会開催！

～臨時大会の確認事項を実現するため、組合員の不信・不安を信頼に転換する大会として開催する！～

6月13日、さいたま市文化センターにおいて、JR東労組第36回定期大会が開催されました。

18春闘のたたかいで、JR東労組に対する信頼を失ったことに対し、「18春闘は大敗北」と総括し、反省すべきところはしっかりと反省するとともに、組合員の信頼を取り戻すために、嘘や誤魔化しをしない、「抵抗とヒューマニズム」を基礎にした運動を展開することを確認しました。

代議員からは、苦しい胸の内や、本部に対しての厳しい意見が述べられつつ、多くの地本から本部と共に歩んでいくと発言がありました。しかし、運動方針を巡っては「会社に対して労働協約70条を踏まえずに争議行為の予告を行った」という総括に対し、17名から『「労使間の取扱いに関する協約第70条を組合が違反した」との認識は事実と異なり、18春闘に誤った総括をもたらすため』という理由で修正動議が出されましたが、代議員251名中反対151名、賛成94名、棄権5名、無効1名で修正動議は否決されました。そして、臨時大会を否定し、現JR東労組本部を御用本部と非難する「憂う会」なるものは、東労組の破壊を目的とした“組織破壊集団”であると規定し、断固としてたたかっていくことを確認しました。

新たなJR東労組として、組合員に寄り添い「組合員のためのJR東労組運動」を創り上げることを確認し終了しました。

【第36回定期大会スローガン】

1. 「抵抗とヒューマニズム」を根底に据えた職場の声を大事にする
新しいJR東労組運動を創り上げるために全組合員が決起しよう！
1. 組合員の雇用を守るために、今後の「施策」と新たな「働き方」に真摯に挑もう！
1. 地域との連帯と信頼を構築し、地元の声を原点に、
JR東労組が地域社会の存続と発展に寄与するためのたたかいを創造しよう！
1. 憲法改悪絶対反対！命と平和を守るネットワークをさらに拡大しよう



「18春闘は決定的な失敗で大敗北」とであると総括し、間違いは間違いと認め、組合員が主役の東労組づくりと、労使関係の再構築に努めていく方針を確認する！

千葉地本から2名が中央執行委員に選出される！

長谷 理生業務担当部長（運輸分会）

久能 裕一業務担当部長（京葉車両センター分会）

現場の声を中央本部に反映させる為に共に奮闘しよう！

**山口委員長・加藤書記長体制を新たに確立！
中央本部と共に、組合員が安心して働ける
職場と、現場第一のJR東労組を創り出そう！**